

## 誕生日ダイブ

10月14日は小生の55歳の誕生日です。この記念の日と前日の10月13日の二日間和歌山県みなべ町にスキューバダイビングに出かけました。今回のダイブで240回を越えました。ダイビングを始めたのが2002年ですので足掛け11年です。

この日のポイントは(しょうがせい・ミサチ)です。気温は28度、海水温25.8度でした。ウエットスーツで潜れる今シーズン最後のダイビングになりました。



友人と一緒に誕生日を祝いました。

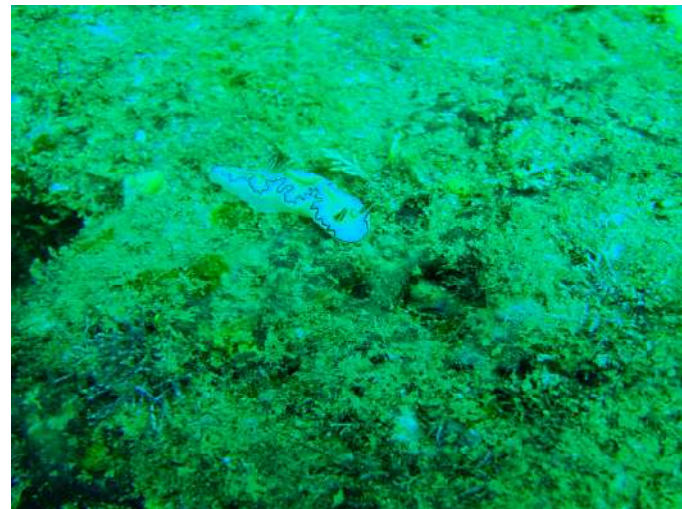


みなべと白浜しかないオオカワリギンチャク

他のスポーツと比較してダイビングの最も楽しいポイントは水の中では人間は全く他の動物達と同じ立場である。食物連鎖の上に君臨するも、水中では機材なくては、何も出来ないちっぽけな存在で有る事を認識する。

小さな生物のお陰で食物連鎖がありますが、その小さな生き物たちをじっくり観察出来るのが水中です。大気中では小さな生物の観察は非常に難しいです。

全く知らない生物・魚達と遭遇すると、人生観が変わります。多少の人と人との心のもつれ合いなど本当に些細な事だと感じますよ。これもダイビングの楽しみのひとつです。



そしてもっとも優れたダイビングの特徴は、話の通じない外国人とも楽しいダイブが可能です。世界中でダイビングの合図は同じです。

これから新しい時代、我々人間は自然と もっと 共有する生活を送るべきだし、そうすれば、人間らしい心と精神の幸せが来ると思います。

## 今シーズンの広葉樹原料の予想

先月の9月20日から今期の広葉樹シーズンは開幕しましたが、9月の市は10年ぶりに参加を見合わせました。そして10月18日の市が小生にとって第1回の今シーズンの広葉樹シーズンのオープニングになりました。下記の写真が展示場です。800立方の広葉樹原木が並んでいます。



16日から18日の日程で北海道・旭川に出かけましたが、台風26号の影響を受け、前日に大幅な飛行機のチケットの変更を余儀なくされた慌ただしい第1回目の出張になりました。

到着すると台風のもたらす風のせいで昨年より33日も早い初雪となりました。それは今期、大幅な服部商店の業態変更をせざるを得ない予感が一瞬ですが小生の脳裏をかすめました。

10月17日の朝から広葉樹原木の下見を今年の5月以来5ヶ月振りに行ったのですが、1本・1本丁寧に下見をしましたが、木はこのように『昨年以上に慎重に木を見なさい。そして雰囲気には飲まれない仕入れをする事が今期のあなたの仕事です。』話しかけてくるのです。こんな話がいきなり木から聞こえてくることは、小生の30年のキャリアからして初めての経験です。しかし下見を続けるとこの違和感の意味が段々理解出来ました。

毎年国内産広葉樹の優良資源が減少している事実を、ことある事に、服部新聞に書いてきましたが、小生の仕事量（国内産広葉樹を買い付ける量）は2013年～2014年は2011年～2012年比の比較では外材（北海道では主にロシア材）を除けば多分マイナス50%になるのではないかと考えています。外材を含めても前年比マイナス20～30%になると思います。



上の写真は北海道で最も少なくなっている広葉樹原木のひとつカツラ材です。材木屋用語で中身が無い事を『がっぼ』と呼びます。

この原木は銘木ではなく珍木ですが、この木の良し悪しを今回の記事で取り上げているのでは有りません。市を毎月開催する為に凄く苦勞を出品者はしています。と言う事実を皆様に知ってほしいと言う思いからです。

市を開催する為には出品数量を何としても確保したいと言う思いが有ります。最低数量を確保しなければ、市の開催は不可能になってしまいます。しかし上記の様な原木では我々内地の業者はやっていけません。森の事は良く理解『もう日本の北海道の森林には十二分に材木屋を食わず原料は有りませんと言う事実。』出来ますが、現実社員がいる以上食べる手段を講じないと、ジリ貧になって会社倒産に繋がると思っています。そうならないように手を打つのが小生の仕事です。

ところで同業者も同じ様に原料の品質低下を味わうので品質が下がる事は公平です。と思われるかも知れませんが、それを引きずると多分エンドユーザーの皆様が無垢材から離れていくだろうと思っています。

木は多少動いたりします。変形もします。しかし消費者の立場から考えると使うのに支障が無い程度の変形は OK だとしても、使うごとに変形する品質の材では、使って頂けません。そういう木が大半を占めるようになってくるのが、2013年~2014年以降ではないかと思っています。

そんな悲観的な話ばかりされていると、全然前向きにならないと思われるかも知れませんが、まだ半年から1年間は皆様にご不便を掛ける事は無いと小生は思っています。今年の4月から導入した人工乾燥機は期待以上の結果を挙げようとしています。約5ヶ月のテスト期間で全樹種を木に優しい人工乾燥を施しました。ほぼ全樹種に対応出来る体制が出来つつ有ります。特に乾燥が難しいブラックウォールナット材の乾燥にも対応できます。現場で活躍する従業員の頑張りが生んだ果実も少しずつ実ってきました。

結果として日本全国の色んな御客様から凄くバラエティなご注文も頂いています。そのご注文を確実にこなせる様に設備の改善を図っていく方針です。まだ皆様に具体的なお話は出来ませんが、来年2014年3月15日に第13回服部商店勉強会（広葉樹原木の製材）と第7回木材展示即売会を催します。其の時に服部商店の新しい工場を是非見に来てください。勉強会のご案内は来年1月の95号で行います。

そして小生はお約束致します。森からの優良な原木の出材がゼロには決してなりません。しかし御客様の必要な時期に材の手当てが出来ないかも知れませんが、多少の時間のご猶予を是非小生に与えてください。下記の写真は北海道産の貴重な針葉樹イチイ材の原木です。小生の大事な御客様からご注文を頂いて半年間で集めようと考えて行動しています。宜しく御願います。



長さ5メートル末口24センチ

## 十勝東部産イチイ特選原木

## 新しい街作りを考える時期に来ているのでは。

小生は大阪市住之江区西住之江に住んでいます。現在生活するのに不便を感じてはいませんが、朝晩犬の散歩で町内を歩くと少しずつ町が変わっていくのですが、決して良い方向に町が発展している様には到底思えません。

この余り良くないと思う変化をご説明するのに西住之江がどんな場所なのかをご説明したいのですが、この地名では少し解かりにくいと思いますので安立（あんりゅう）地区と言う地名なら少しは解かると思います。

1. 元々地主さんが大勢いました。今でも有力な地主さんはいます。例を挙げれば近くの地名で北島と言う町がありますが、北島と言う地主の名前から来た地名です。愛知県の豊田市と同じような地名です。
2. 地主さんが相続で昔から土地を徐々に手放していましたが有る年限まではそれほど町の変化は発生していなかったと思います。理由の一つは地主さんが持っていた土地の上に立っている立派な長屋の存在だと思います。（歴史的流れを辿ると地主が土地を国に底地物納をしてそれで税金を払い、元々住んでいた住人が国から土地を購入していたと思います。）  
長屋が町の景観を守ってきたと思います。もう一つ景観が守られてきた理由は地主さんの家の存在です。地主さんの多くは今でもしっかりした住いに住んでいます。相続の問題で土地を処分した後凄く多くのミニ開発が林立しているのです。
3. 長屋が大規模な改修時期にあたり、長屋の住人が入れ替わったりしています。そこに大きな変化をもたらしたと思います。
4. 4軒続きの長屋が4軒の新しい一戸建ての家に変化するのですが、これは町全体の景観は損なっていないと思います。しかし1戸の長屋が2戸の新しい家になったりしています。
5. 小生の家から歩いて5分の所に亡き父親の友人の土地（約150坪）が有りました。理由があって土地を手放したのですが、その1区画土地に5戸の新しい家が出来ました。家と家が林立しています。多分夫婦喧嘩は聞こえると思います。

こんな感じの地区ですが、全く雰囲気が違う所が1箇所あります。そこは立派な家が約10軒建っています。昔ながらの安立地区と思わせます。その中に数軒の特に立派な家が有ります。

片方で町並みを考えない街作りをしています。しかしそうでない閑静な住宅街も有ります。お金を少し多く持っているか、そうでないかの程度で大きな格差を生じるのが正しい街作りでしょうか。小生は非常に疑問を感じます

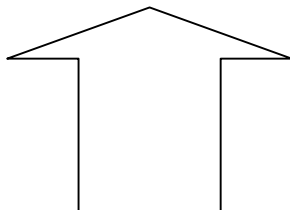
人口減少時代を迎える日本にあっては、日本全国一律の行政ではなく、その地区に有った行政の仕組みにする事は決して間違っていないと小生は思います。小生は大阪都構想が、地元の事は地元で決めるような抜本的な改革をしてくれるなら、心から応援はしようと思います。

土地税制の抜本的考えを変える事『例えば東京の田園調布（小規模な住い作りを禁止しています。）に近い規制を設ける事は間違っているのでしょうか。例えば仮に安立地区は2015年以降50坪以下のミニ開発の家は作れないと言う政策は』は大阪の力を落すことでしょうか。実現には色んな問題が有る事は解かっていますが、そう言う事を考える時代に来ているのではと思います。

**材木屋の立場から一言話させて下さい。今の住いの作り方『大半は30年位で潰してしまう作り方の住い』を続ける限りもう素晴らしい無垢材の安定供給は保証は出来ません。最低100年近く使える住いを提供してくれないと地球環境全体から見て破壊を益々進める事に繋がります。そして窮極的に言えば、人類の滅亡と言う事に繋がる可能性は有ると思います。**

住いに素晴らしい無垢材を使いたいと思う方は本当に多くいると思いますが、凄く問題点がある事も承知しています。流通が多すぎることもそうでしょう。その為に高額な木材製品になっているかも知れません。職人不足の事も有ると思います。少量しか要らない事も有ると思います。其れに対応する業者もない事にも理由は有ると思います。小生はどうしたら色々な問題を解決できそうなのかを考えようと思いました。そして皆様にご意見をお聞きしたいと思い別紙アンケートを御願ひします。

**FAX 072-422-8577**



アンケートの御願ひ

1、 内部造作材が少量対応も可、短い納期でも可、樹種も豊富、しかもリーズナブルな価格、**加工も施**して、現場で大工さんが切って施工するだけ。ここまでしてくれれば大いに利用したい。

はい

いいえ

2、 木拾いは現場でして頂きたいと思ひます。加工図面のみの対応で上品質の木材加工品を提供出来る仕組みを持った業者は建築士さんの設計・施工に役に立つ。

はい

いいえ

3、 具体的な要望が有れば下記に記入してください。

会社名	
担当者名	
〒及びご住所	
お電話番号	
FAX 番号・E-mail	

(株) 服部商店

〒596-0011

大阪府岸和田市木材町 16-1

TEL 072-438-0173.0511